

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
〒662-0977 西宮市神楽町  
5-23  
西宮 YMCA 内  
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2026年 5月会報 第449号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Edward Ong (シンガポール)

主 題 信念、愛、行動 Faith,Love,Action

標 語 共に、より強く Together Stronger

アジア太平洋地域会長(AAP) 田上 正(熊本むさし)

主 題 信念と愛を持って行動しよう

Act now with faith and Love!

標 語 YMCA,ユースと共に地域社会に貢献しよう

Contribute to local society together with YMCA and Youth!

西日本区理事(RD) 中井信一(奈良)

主 題 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends  
all over the world!!!

標 語 あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

Stay with you. Never forget you.

六甲部長(DG) 柳 敏晴(神戸西)

主 題 温故知新 Visiting Old, Learning New!

標 語 六甲部にウエルビーイング!

We Rokkou-bu aims for wellbeing!

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 地域で見つかる!繋がる!ワイズ活動!

2026年 5月例会

日 時: 2026年5月13日(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー:

青柳美知子・若林成幸

開会点鐘

会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」

聖書・祈祷

安行英文

ゲスト・ビジター紹介

会長 多胡葉子

会 食

卓 話 「YMCA サービス事業とユース事業のこれから」

元西日本区理事 鷗丹谷 剛ワイズ

次期ユース事業主任 上杉 徹ワイズ

委員会報告

YMCA報告

担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い

会長 多胡葉子

ニコニコ・ファンド

閉会点鐘

会長 多胡葉子

西日本区 5月強調テーマ:①LTOD リーダーシップを学んでください。クラブ・部・区等あらゆる機会に学びの場があります。

リーダーシップ開発委員長 中村隆司(京都ウエル)

②YIA Young Involvement and Activities 若者の参画と活動。ユースに向けた活動は未来への責務、ワイズメンとしての支援・応援を。 Yサ・ユース事業主任 山本一博(京都バレス)

2025~2026 役 員	会長:多胡葉子 副会長:福田宏子 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘・風早寿郎 担当主事:橋本 唯 メネット連絡:小林貴美子 直前会長:長尾 亘
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS 環境:金岡幸宏 EMC:福田宏子 国際・交流:岡野泰和 広報・プリンテン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:郡家 学・多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
国際・交流主査	石田由美子

5月誕生日	6 片西順子 7 長尾 亘 23 鯖尻佳子 24 小林康男
4月例会実績	会員在籍数(A) 17名 例会出席総数(B) 21名 (内訳) 会員(C) 12名(内ズーム1名) メネット・アソシエト 6名(内ズーム2名) ゲスト・ビジター 4名(内ズーム0名) メイクアップ(内数D) 1名 会員出席率 C+D/A 70.6% 例会充足率 B/A 123.5%
4月実績 にこにこ ファンド	ニコニコ 2,000円 (累計 44,500円) ファンド タカラムネ 0円 (累計 39,500円) 真菰茶 0円 (累計 17,485円) その他 0円 (累計 1,800円) 合 計 0円 (累計 58,785円)

## 聖句

求めなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。  
 そうすれば、開かれる。(新共同訳)新約聖書・ルカ福音書 11章9節)

## 随想

「求めなさい」、「探しなさい」、「門をたたきなさい」。

何を求めるのでしょうか。神を、です。

「主の祈り」は、神から「あなたは、どこにいるのか」という問いに対する私たちの側からの答えなのではないでしょうか。つまり、「私の心は、あなたに向いています」と答えるのが「主の祈り」の内容なのです。

それは、神が私たちと共にいてくださることがあって、初めて成立する答えです。主と共にいてくださるからこそ、御国を求め、日毎の糧を求め、罪の赦しを求め、誘惑から助け出されることを求めるのです。

ではなぜ、神を求めるのでしょうか。本物と出会っていたいからです。死期が間近な人に、どうして神の代用品を紹介することができるのでしょうか。神との出会いこそ、心に平安をもたらします。

人は、心の中に一つの穴を開けたまま生まれてくる。一生は、その穴を埋めるために探し回るものだ。そして、その穴に神を受け入れて初めて人は平安になる。そう、昔の人が言いました。

私たちは、本物と出会っているのでしょうか。神は私たちにキリストをお送りくださいました。彼によって、私たちは神と出会えるのです。

今、熊本で友人が牧師をしています。彼は高卒後、農家の跡継ぎになりました。結婚したものの、その後、体が衰弱してとうとう入院！ そんな時に夢を見たそうです。

砂原を「腹が痛い！」と文句たらたら歩いている自分の前に、人の足のかかどが見えました。主イエスでした。主イエスは、十字架を背負って歩いていました。その方から次のような声が聞こえました。

「あなたは病気が治ったら、また、あなたの行きたい道を行こうとしているのか…」。

ショックで目覚めました。自分は主イエスを利用して自己実現を図っていることに愕然と気づきました。彼は悔い改めて牧師の道を選びました。

私たちが神に祈るのは自分の幸福追求、自己実現のためですか。私たちは聖霊によって、人の心に空いた穴を埋める神と出会うように後押しされ、導かれています。

日本基督教団 宝塚教会 牧師 浦上結慈

【参考】主の祈り(Lord's Prayer)は、イエス・キリストが弟子たちに教えたキリスト教で最も基本的な祈祷文です。神への崇敬、神の国への願い、日々の糧、罪の許し、誘惑からの救いを求めており、福音の要約とも言われます。カトリック・プロテスタント問わず礼拝で唱えられます。

## 主の祈り(文語訳)

天にまします我らの父よ 願わくはみ名をあがめさせたまえ 御国を来たらせたまえ

みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を、今日も与えたまえ

我らに罪をおかす者を 我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ

我らをこころみにあわせず 悪より救いだしたまえ

国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり アーメン

## 4月例会報告

## 4月 第一例会報告

昨夜の雨で、並木の鮮やかに咲き誇っていた桜が、目の覚めるような新緑の葉桜に変容した4月8日(水)、「健康、生きがい就労ラボ」理事長 遠座俊明氏をゲスト講師に迎え、急速に、高齢者数が増加しつつある昨今、いかに地域社会に於いても役立ち、本人自身も介護予防となるシニアの生活向上を目指す取り組みを伺った。

65歳で定年退職し95歳まで生きると仮定すると、およそ1万1000日もの連休ができる。もしも家にこもりがちで社会とのつながりが薄くなれば、心身が衰えて要介護状態になるリスクとなるのは否定できない。これらの予防策として「プチ就労制度」を開発し、宝塚市において試行されるようになった。その後、大阪、兵庫、奈良等14市町でも実施されるようになった。自治体はこうしたシニアの働く場所の受け入れを探し、働く時間は1日2～3時間程度、週1回でも可能な就労と身の丈に合った無理のない生活を送ってもらうことを目指している。

江戸時代の貝原益軒は「養生訓」に「身の丈に合った」活動、「生きがい、楽しみ」として労働、「社会貢献と感謝」の精神を謳っているが、まさにその実践版である。

「プチ就労のメリット」として、高齢者には、生活にリズムが生まれ、お小遣いを得ながら地域で生きがいを感じられ、地域、事業者には、福祉施設や保育所などでの深刻な人手不足が解決など良い結果が生まれてきている。就労トライアルに参加者した方のアンケートからも次のような嬉しい報告が届いている。

「日々の生活にメリハリができ、健康になった！今後も続けていきたい

「高齢なっても地域で就労できる機会を与えていただき、生きがいになっています」

「専門職の方たちが忙しそうにしているのを目のあたりにすると、自分が助けているようで嬉しい」

「週2回の仕事ですが、施設の利用者の方たちと会えるのが、楽しみなので、仕事のための体調にも注意します」等。

人、物にとらわれず、何かに役に立つことの喜びの気持ちは、まさにY'S活動にも繋がっているのでは？と痛感し嬉しくなった。

その後、各委員会報告、国際大会開催地がドバイからペナンに変更等の報告、誕生日のお祝いを終えて、四月の例会の幕を閉じた。

福田 宏子



## 4月第2例会 議事要旨

2026年4月16日

日時 4月15日(水)午後6時30分～8時30分 場所 宝塚市立西公民館

出席 多胡会長、石田、岡野、金岡、小林、郡家、武田、福田、若林、9名

議事要旨

## 1)5月例会に関して

- ・日時 5月13日(水)午後6時30分～8時30分
- ・場所 宝塚市立西公民館ホール
- ・卓話 元理事 鶴丹谷 剛ワイズ(神戸)、ユース事業主任 上杉 徹ワイズ(神戸西)を予定
- ・演題 「Yサ事業とユース事業のこれからを考える」

## 2)6月例会に関して

- ①1年間の活動評価と課題を協議 (例年のフォームで資料準備)
- ②教職員の働き方改革に関連し、公立中学校では部活の地域移行が始まり、学校と地域が連携した新しい部活動のあり方が模索されている。南ひばりが丘中学校の矢藤先生(吹奏楽)を迎え現場の声を聴き、ワイズのCS活動の可能性を考える。

**3) 3月14日開催、六甲部第二回評議会での六甲部部則改定に関して**

若林ワイズ作成の部則改定に関する意見書(略)をもとに協議、一部を修正して六甲部へ報告することを了承した。

今後のスケジュール:

- ・各クラブで検討結果を検討委員会へ送付(4月19日まで)
- ・検討委員会で意見書を集約。5月2日までに検討委員会案作成し、拡大役員会を開いて審議。
- ・7月〇〇日 六甲部第一回評議会に議案提出。

**4) 西日本区オンライン事業懇談会(ZOOM)**

新年度の事業主任によるZOOM懇談会が下記の通り行われる。参加希望は多胡会長へ。

日時:4月26日(日)14時からYサ、15時からユース、16時からCS、19時からEMC、20時から国際・交流

**5) 部、クラブなどの行事案内**

- ・4月18日(土)大阪サウスワイズメンズクラブ創立70周年記念式典・祝会
- ・4月18日(土)京都パレスワイズメンズクラブ55周年記念例会
- ・4月25日(土)17:00~ 中西部YYYフォーラム 場所 大阪YMCA会館
- ・4月25日(土)神戸ポートクラブ チャリティーコンサート 神戸聖愛教会
- ・5月23日(土)岡山ワイズメンズクラブ クラブ設立60周年記念例会
- ・5月30日(土)関西ワイズビジネス交流会 プレゼン大会
- ・6月6日(土)第29回東日本区大会
- ・6月13日(土)第29回西日本区大会

**6) きちんと輝くアート展 総括ミーティング報告**

作品展示に協力してくれた事業者等に礼状を送付。先方からも感謝のレターが届いた。

(詳細は、ブリテン5月号参照)

**7) 第27回宝塚国際協力フェスタの総括アンケートを行った。**

(詳細はブリテン5月号参照)

**8) 市民でつくるクリスマスコンサート**

第1部の朗読内容を、従来の「クリスマス物語」からヘンリー・バン・ダイク作の「もう一人の博士～アルタバンの旅」に変更の予定。

**9) ブリテン5月号編集 投稿締切 4月28日、発行5月1日**

執筆分担:第1例会・福田、第2例会・若林、聖書随想・浦上牧師、チャリティーラン準備会・武田、アート展総括・金岡、京都ウエルクラブ訪問・石田、国際協力フェスタ・小林、市民クリスマス・若林、YMCA報告・橋本、YMI(iGOについて)・岡野、誕生日一言メッセージ50字以内・片西・長尾・鯖尻

**10) その他・はんしん自立の家主催の行事**

- ・5月23日(土)14:30~ 国際化社会セミナー  
講演: 関西学院大学人間福祉学部 藤井美和教授:「寄り添いを考える～死生学の視点から～」
- ・7月12日(日)14:00~41周年記念サロンコンサート

以上

## オンライン事業懇談会(ZOOM)に参加

オンライン事業懇談会が4月26日に開催された。出席対象者に当たる2027年度のEMC事業主査として19:00~のミーティングに参加。

西日本区各部の9部長及びEMC事業主査9人と次期理事、会計、書記の21人の参加。

次期理事の挨拶の後、書記の井之上ワイズ司会のもと大橋芳夫EMC事業主任から今期の事業方針などの説明があり、続いて各部の主査からそれぞれのEMC事業に関する各部での思いの発表があった。今までEMC事業はメンバー増強の話が主だったが、単独で事業を進めるのではなく、Yサ・ユース事業、地域奉仕・環境事業、国際・交流事業の各事業主査と共に意見交換をしながら会員増強につながる方法を模索していくことなどの意見が語られた。また、YouTubeなどのSMSを通してのアピールの模索も大切ということで、その方法などを積極的に取り入れることなども提案された。

会員増強のみに固執するのではなく共に楽しく交流を通してメンバー増強ができればと。今まで数字にこだわっていたEMC事業が少し変わってきたのではという思いがした事業懇談会だった。

多胡 葉子

## 実施事業の総括

### 「きらりと輝くアート展」を終えて

#### -実行委員会での総括-

4月11日、「主題の展覧会の総括会議を行いました。実行委員の皆さんが、開催内容について高い評価を挙げました。次回も、同じ場所で1年後開催すべきとの意見がまとまり、ギャラリーの予約手配を進めています。

今回は、総括の中でも共有できた、出展者の皆様からの感想をお伝えします。

・(壁がなければ、山田代表) 東館2階は初めて利用したが、使い勝手が良く良い会場である。お手伝いできて光栄でした。

・(笹谷太郎さん) 展示スペースも事前に割当られており、希望が叶った。この度はお世話になりました。次回もよろしく願います。

・(さおり織り、中平さん) この度は素晴らしい展示会に呼んで頂きありがとうございます。娘もよろこんでおりました。次回もご縁がありましたら、よろしく。

・(yukiさん) アットホームな受入体制で、ありがとうございました。

・(はんしん自立の家・石田様) すばらしい会場で、展示方法も考えられていて大変うれしいです。

・(SON兵庫、片西様) 作品の搬入・搬出しかお手伝いできなかったが、作品のアルバムを作成して送って下さいました。

・(COCO育、山崎さん) 大きな会場で展示させてもらいとてもありがたかった。

皆さん、次回も是非参加させていただきたいとの声をいただいています。 金岡 幸宏

### 第27回宝塚国際協力フェスタについて

#### 反省と総括

NGO連絡協議会での宝塚国際協力フェスタの反省と総括については、次のとおりであった。

開催期間(日数2日)、活動報告会(会場、時間)、イベント、エスニック喫茶、スタンプラリー、物品販売、会場設定等個別評価は概ね良好であったが、例年通り一般の方々の来場者が少なく、販売面では協会の関係者の方々の協力が大きかった。またイベントも集客力アップにはなったが、イベントだけが目的で、すぐに帰ってしまう方々が多く、我々の活動展示に関心がある方が少ないように思われる。

次回はマンネリ化を防ぐため、連絡協議会とは別に出展する全団体が参加して意見交換を行う検討会を開いてはどうかとの意見があった。

次回の宝塚国際協力フェスタは2027年3月13日(土)、14日(日)に開催することになりました。

より良いものにするため、いいアイデアがありましたらご連絡下さい。

小林康男



## 友好クラブ例会参加報告

### 大阪サウスクラブ 70周年記念例会

4月18日(土)11:30から堺筋本町にあるシティプラザ大阪で大阪サウスクラブ70周年記念例会が開催され韓国・大邱から、台湾からIBCが、又、長浜からDBCが参加し総勢110名を超す記念例会になりました。

どのメンバーの方も70周年に相応しい年代の方々、何よりも感動したのは今年満100歳になられた中村勝吾ワイズの存在でした。恐らく東西を通して最高齢ではないかと思えます。お声も行動も誰よりもお元気、大拍手です。

アトラクションの大阪青年会議所太鼓クラブの力強い演奏が不自然でない位大阪サウスクラブの力強さを感じた記念例会でした。

この後、参加者の内10名余りは堺筋本町から阪急又は京阪を使って京都へ移動、京都パレスクラブ55周年記念例会へ！終日交流の日になりました。

石田 由美子



### 京都パレスワイズメンズ 55周年記念例会

4月18日ホテルオークラ京都で京都パレスワイズメンズクラブ55周年記念例会が盛大に開催されました。IBC、DBCそして西日本区のワイズが集まり宝塚クラブからは岡野ワイズ、石田ワイズ、長尾の3名が出席しました。

第1部は式典があり2名の入会式がありました。そして、ラオスにホテル学校を作るプロジェクトの苦労話と、今年の10月にやっと開校式をする報告がありました。

第2部は懇親会でホテルの美味しい料理を頂き20時30分に終わりました。帰り道、宝塚クラブの40周年記念例会が心に残る例会に皆んなで作らなくてはいけないなと思いました。

長尾 亘



### 京都ウエルクラブ メンバー・スピーチ例会

4月21日(火)19時、京都河原町駅近くの宴会場 WITH YOUにおいて、松田博一会長から「僧侶になったワイズメン」と題して例会があると聞いたので参加しました。教員生活を経て「信心によって私の生き方を決める」という確信に至った経緯と、第2に人生への覚悟の程を聞かせてもらいました。

松田会長の温厚な性格と巧みな話術で会場は終始和やかな雰囲気満ちていました。宝塚から長尾・福田・石田・若林が参加し、他のビジター14名と京都ウエル会員をあわせて28人が松田会長の第2の人生のスタートを祝うひと時となりました。

今回は第508回目の例会に驚きました！クラブ設立が2005年(21年目)だから、月2回以上のペースで例会を行っていることになりですね。(役員会は別日程で行っている。)会食を共にする通常の例会のほかに「奉仕活動のための例会」があり、4/29には動物愛護センター花壇ワークと説明がありました。クラブの空気が明るくて活動的。ワイズライフを楽しんでいる様子がうかがえました。

若林成幸

## チャリティーラン委員会報告

日時:11月22日(日) 場所:しあわせの村

委員長:田代ワイズ。担当主事:間主事

- 1 募集はランネットを使用、集期間をもう少し長くし参加者を増やす
- 2 競技内容は昨年と同じ
- 3 チラシはすでに完成、早期募集をすすめる
- 4 食べ物販売が好評だったので、ワイズメンクラブの出店をお願いします。但し、ガスボンベ使用は不可。電源使用のこと。宝塚のタカラムネはお願いしたい。

武田寿子

## YMI Topics

国際協会ワイズメンズクラブは地

域奉仕活動の一環として RBM(ロールバックマラリア)プログラムに取り組んでいます。各クラブからの献金を基に YMCAをはじめ様々なプログラムパートナーと協働して主にアフリカとアジア地域におけるマラリア撲滅のための取り組みを行っています。これまでの活動により多くの成果をあげていますが、2030年までのマラリア撲滅目標に向けてより一層支援活動を強化していく必要があります。詳細は以下のサイトをご参照いただき、ぜひご協力をお願いいたします。

岡野泰和

<https://ys-east.or.jp/about/project#gsc.tab=0>



みつかる。つながる。よくなっていく。

## 留学生への生活用品の配布

4月6日に専門学校日本語学科の入学式を行い、7カ国から40名の学生が入学しました。現在は、11カ国・地域より115名の学生が在籍し、日本語・日本文化への理解を深めています。4月7日には、新入生へのオリエンテーションと在校生との対面式を行い、同じ国の先輩から日本での生活についてのアドバイスやYMCAでの生活等の情報を交換しました。その後、生活用品の配布を行いました。新入生は食器やタオル等を手に取り、喜んで家に持ち帰りました。今回は炊飯器や冷蔵庫、電子レンジなどの家電製品をご寄贈いただき、抽選に当選した学生が持ち帰ることになりました。皆さまからいただいた寄贈品を手にして入学式当日の緊張した雰囲気もほぐれた姿が印象的でした。今年もワイズメンズクラブの皆様をはじめ多くの方々のご協力により生活用品を集められました。東南アジアを中心とした留学生の在籍が増加しているため、経済的に苦労している学生もいます。その中で、地域の皆様からのあたたかいご支援をいただくことができ、心より感謝申し上げます。引き続き、留学生へのご支援ご理解をお願いいたします。

神戸 YMCA学院専門学校 日本語学科



## おめでとうございます！結婚60年

「結婚60周年、ダイヤモンド婚、おめでとう」と突然のサプライズ！娘たちからのお祝い！

ワイズ活動も続けられるのはやはりこの家族の支えあつてのことと。感謝のみ。

多胡葉子



## お誕生日一言メッセージ

80の手習い

80歳になった昨年からSOアスリートと一緒にボウリングを楽しんでいます。3ゲームトータル400点を目指して練習中！

片西順子

5月7日で79歳です。そのうち39回ワイズの例会でお祝いして頂きました。私の年代は「ベビーブーム」と言われ、私の中学の同学年の人数は1クラス60名で20組1200いました。次の目標は80歳です。

長尾 亘

今年は何女です。介護も五年目になり2人の生活にもリズムが出てきたようです。今まではそれぞれが忙しい日々でしたが、今は一緒に居る時間が長いですが、楽しく過ごしていけるようにしたいと思っています。

鯖尻佳子

教育(今日行くところがある)と教養(今日用がある)をモットーに今年も頑張ります！

小林康男